

くらしき まち歩き さと歩き マップ



倉敷市
水島地区
一福学区

作成：一福学区愛育委員会
協力：松江町内会
健康サロン「てんとうむしの会」
発行：倉敷市（平成27年3月発行）

全行程 約 4.5km
約 1時間15分
松江公民館より西側コース
約 2.0km
約 35分

まつえの 散歩道



*** 一福学区 ***

私たちは、地域の皆さんの「健康づくり」の一助になればと願いながらウォーキングマップを作成しました。

まつえ地区に春には桜のきれいな場所があると知り、訪ねてみました。
(元倉敷海軍航空隊、飛行予科練習生が探訪記念に植樹したものでした)
そのほか、後鳥羽天皇の皇子の后が出産したと言われる生姫島や航空隊の跡地もあり、改めて地元の歴史を知ることができました。

皆さんも、歩きながら、少しタイムスリップしてみませんか。



①荒神の森



頼仁親王の侍女たちの墓だと言われている。
今でも町内の人達によって「お墓参り」と言われる
行事が毎年行われている。

③元予科練生が思い出の地を訪問し 詠んだうた



昔(いにしえ)の赤トンボ飛来して
王島山の桜の山に友情の湧く

⑤久松侍従視察記念碑



昭和14年 3ヶ月間雨が降らず稲田も乾き切り
裂け目ができ塩までふき出した大千ばつ様子を
天皇の命を受けた久松侍従が視察に来られた記念
に建立した。

②五輪の塔(后塚)



頼仁親王の后を含む7人の侍女の供養のために
7つの五輪の塔が建てられた。その一つが
大師様でこれが「后塚」だと伝えられている。

④元倉敷航空隊探訪記念を記した木板



元倉敷海軍航空隊の人が平成4年に植樹した
50本の桜が見事に花を咲かせている。
平成4年3月14日植樹

⑥生姫島



承久の乱(1221)で、後鳥羽天皇の皇子 頼仁親王が
児島に流されていた時、后が臨月の身で、この地を訪れ
急に産気づいてこの島で王女を出産したと言われる。
このことから生姫島(うめしま)と呼ばれるようになった。

⑦

・板敷水門跡



倉敷市の歴史を伝える貴重な遺産
として、平成7年に市の史跡として
指定された。



昔ながらの石段。(上に鳥居が見える)

・荒神様



小高い岩山を見上げると鳥居が現れる。

上がると小さなお社(下写真)も。
(その昔、高梁川の洪水で流されてきた
神様をもつたいないとお祀りしたという)



・恵比寿様



ぜひ一度、会いに
行ってください



竿を右肩に鯛を左脇に抱えた
恵比寿様。
見ているとついニッコリ...

水島緑地(100m道路の公園)

満開の桜は見事！

